

## 日本社会事業大学 主な沿革

1946年(昭和21)11月	財団法人中央社会事業協会(後に日本社会事業協会)は厚生省の委託を受け、1946年11月9日、日本社会事業学校を創立し経営にあたる。 東京都牛込区原町に開校
1947年(昭和22)3月	日本社会事業専門学校設置、本科(3年制)、研究科(1年制)をおく
1948年(昭和23)1月	東京都渋谷区原宿(現・神宮前)に校舎移転
1950年(昭和25)3月	日本社会事業短期大学設置
1951年(昭和26)3月	学校法人日本社会事業学校設立 日本社会事業短期大学附属図書館・社会事業図書館開設
1958年(昭和33)3月	日本社会事業大学設置
1958年(昭和33)4月	日本社会事業大学開学(社会福祉学部社会事業学科・児童福祉学科)
1960年(昭和35)11月	日本社会事業大学社会福祉学会創設
1962年(昭和37)4月	学校法人日本社会事業大学設立(学校法人日本社会事業学校改称)
1989年(平成元)4月	東京都清瀬市へ移転。児童福祉学科定員増(50名→100名)、大学院社会福祉学研究所修士課程設置
1994年(平成6)4月	大学院社会福祉学研究所博士後期課程設置
1996年(平成8)4月	社会事業学科を福祉計画学科に、児童福祉学科を福祉援助学科に名称変更
1999年(平成11)4月	日本社会事業学校に社会福祉主事資格認定通信教育科設置
2000年(平成12)4月	日本社会事業学校に社会福祉士通信教育課程設置
2001年(平成13)4月	日本社会事業学校に精神保健福祉士通信教育課程設置
2004年(平成16)4月	日本社会事業大学大学院に福祉マネジメント研究科(専門職大学院)開設
2008年(平成20)11月	アジア福祉創造センター設置

## 教育後援会設立趣意書

日本社会事業大学は、昭和21年に創立以来、国の委託による「指導的社会福祉従事者の養成」及び「モデル的社会福祉教育の開発」を行い、日本全体の社会福祉教育・研究の向上に寄与することを建学の礎として運営されてきました。

その間、これまで約1万3千人を超える卒業生を世に送り出し、幅広く社会貢献を果たしております。例えば、熊本県知事、沖縄県副知事、埼玉県副知事をはじめ全都道府県の保健福祉関係部長及び全国社会福祉協議会の要職並びに養護学校校長や保護監察官等の要職に就き、福祉・教育・医療・保健・司法などの各分野で活躍した方、現に活躍している方々も多く、さらに、全国社会福祉系大学に多数の教員を輩出し、幅広くわが国の生活の安定・向上や増進及び社会福祉教育・研究の向上に寄与しております。

換言すれば、今後の日本社会事業大学には、少子高齢社会によって生起する複雑、多様化したニーズにこれまで以上に関係各分野に対応するための質の高い人材の養成と内容が深く且つ有益な研究業績の積み重ねが求められていることを意味し、これらに応えるため今まで以上に社会的使命を担っていると考えます。

日本社会事業大学が真にその社会的使命を達成するためには、学生の課外活動の充実や生活環境の整備によって、豊かな学生生活を支援し、社会福祉士など各種の国家資格を取得すると共に、情豊かな人間性を培い、もって将来人間の尊厳の保持に関わる優秀な人材が輩出されること。同時に教育研究環境の整備とともに学術研究の振興と教育内容の強化充実を図っていくことも不可欠なことで理解しております。

そのため、日本社会事業大学で社会福祉教育を学ぶ学生の豊かな人間性の涵養をベースにした学業の内容充実のための助成、課外活動への助成並びに学生の進路指導・国家試験対策に必要な助成及び大学の行う諸行事に対する援助等各分野にわたる助成さらに学術研究への助成を行うことが必要であると考えます。

そこで、以上の実現を目指し、このたび会員相互の親睦と交流を図り、併せて連携・協力体制を築き、日本社会事業大学の健全な発展を支援するための組織として、同大学で社会福祉教育を学ぶ学生の保護者・保証人などにより、「日本社会事業大学教育後援会」の設立を発起いたしました。

つきましては、皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、特設のご高配を賜りますようお願い申し上げます。



アガベ像(像の題名『ウブゴエカラ灰トナリテマデ』)  
1958年 彫刻家 故渡辺義知氏(二科会会員)  
アガベ像は、社会福祉の根底に流れる思想を象徴しており、日本社会事業大学のシンボルとなっています。

平成20年4月  
日本社会事業大学  
教育後援会役員一同

### 日本社会事業大学 教育後援会事務局

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30

TEL 042(496)3110

FAX 042(496)3199

より豊かな学生生活を応援する

## 日本社会事業大学 教育後援会のご案内

## 入会にあたって

本学教育後援会は、学生の奨学、課外活動及び福利厚生に対する援助、社会福祉士等の国家資格取得支援に対する援助など、大学が必要とする教育事業の充実・強化及び発展を後援し、あわせて会員相互の親睦と交流を図ることを目的として、平成20年に設立されました。

設立以来、設立目的に向かって事業が日々進められておりますが、なお一層事業を安定させ、成長させていくために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後の課題といたしましては、会員数を増やしていくことはもちろん、本学同窓会とタイアップし、新たな取り組みもして参る所存です。

何より、現在学ばれている学生の皆さんが、「今」必要としている援助をよく把握し、皆様のご有志を大切に生かしていきたいと思っております。

皆様方には、どうぞ忌憚のないご意見をお寄せいただき、積極的なご参加とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### <役員>

会長 渡邊 豊 (新潟県)

副会長 山本 憲昭 (福岡県)

会計監事 平山 明美 (埼玉県)

幹事 小林 佳之 (熊本県)

※敬称略

## 教育後援会の主な活動

### ◆修学支援事業

#### 充実した修学環境づくりへの支援

実施例:社会福祉士模擬試験の一部援助等  
国家試験資格取得支援、成績優秀者表彰副賞の支援 等

### ◆課外活動支援事業

#### サークル・ボランティア活動への支援

実施例:社大祭への援助、サークル活動に対し遠征費用、合宿費用、道具の購入代等の援助、イベントに使用する集会用テントへの援助 等

### ◆学習環境向上事業

#### 学習環境の整備を支援

実施例:学生選書ツアーでの図書購入への支援、花壇の整備 等

### ◆国際交流・研究支援事業

#### 学生の海外交流や留学生との交流を支援

実施例:留学生と在学生の交流会への援助、海外交流事業(フィリピン、スリランカ等へのスタディツアー)への援助 等

### ◆会員交流事業

#### 会報の発行や会員の交流会を実施

実施例:教育後援会報の発行 等

## 入会及び会費納入

### ◆会費

40,000円(4年間)

※分割納入(1年間10,000円)いただいても結構です。

### ◆申込方法

(1) 会費、学籍番号(新入生の場合は未記入でも可)、学生氏名、ご依頼人名(保護者氏名)を次のいずれかの方法でお知らせ願います。

① メール kouenkai@jcsw.ac.jp

② FAX 042-496-3199

↓↓ご記入後、このページをお送りください。

記入欄	会費	円
	学籍番号	
	学生氏名	
	保護者氏名	

(2) 会費のお振込をお願いいたします。

### ◆会費の振込先

(郵便局と三井住友銀行からお振込いただけます)

#### ●全国の郵便局

・口座記号 口座番号  
00150 9 639562

#### ●銀行名 三井住友銀行 清瀬支店(きよせしてん)

・口座番号 4638919(普通預金)

いずれも口座名は、  
日本社会事業大学教育後援会  
(にほんしゃかいじぎょうだいがく  
きょういくこうえんかい) です。